



総合支援 センター職員

総合支援センターに
ついての記事は、
5ページを
ご覧ください。



No.

21

ジェイコー
JCHO

北海道病院 だより

病院理念

地域の人々を中心にした
質の高い医療・介護を提供し、
地域から信頼される病院に
なります。

基本方針

- 1.一人一人の権利を尊重し、人間愛を基調とした医療・介護を行います。
- 2.安全を第一に説明と同意に基づく医療・介護を行います。
- 3.地域との連携を推進し、求められる医療・介護を行います。
- 4.地域の健康増進をめざし、保健予防活動を推進します。
- 5.地域医療機能の推進をもって医療・医学の発展に貢献します。

新任医師の ご紹介



【外科】

正司 裕隆(しょうじ ひろたか)



平成19年卒業の正司裕隆(しょうじひろたか)と申します。
このたび4月よりJCHO北海道病院・外科に配属となり勤務させていただくこととなりました。
いままでは、3年間の研究歴の他に、札幌近郊の病院・大学病院・地方病院で勤務を行ってまいりました。同僚はもとより地域の先生方や患者さんに信頼していただけるような医師を目指し日々研鑽を積んでおります。
皆様に安心して医療をうけていただけるよう頑張ってみますのでよろしくお願いいたします。

01

【小児科】

小杉山 清隆(こすぎやま きよたか)



この病院に来る前は手稲溪仁会病院に6年、その前は室蘭の日鋼記念病院に8年勤務していました。
子どもの頃は硬石山、川沿いに住んでいて、附属小学校(今は図書館がある所)に通っていました。昔と同じ南21条のバス停を降りて見る街並みはずいぶん変わりましたが、藻岩山や豊平川など変わらない景色も多く、とても懐かしい気持ちで通勤しています。
医師として働く時間もそう長くない今日この頃ですが、もう一頑張りしていきたいと思えます。

02

【小児科】

伏屋 菜穂(ふせや なほ)



このたび4月より赴任いたしました、小児科の伏屋菜穂(ふせやなほ)と申します。
当院では主に、NICUの病棟医として、勤務を開始致しました。
以前は他の病院で、NICUをメインに仕事をしておりましたが、家庭の事情等により、小児科外来などに勤務内容がシフトしておりましたが、こちらの病院で再び新生児医療に関わることになりました。
4児の母として、具合の悪いお子様だけでなく、ご家族にも寄り添いながら、必要な医療を提供し、家庭での生活に向けて必要なことなどを考えていきたいと思えます。
どうぞよろしくお願い致します。

03

【泌尿器科】

新海 信雄(しんかい のぶお)



泌尿器科の新海です。
3月までの3年間、大学院生として排尿障害の研究に取り組んでいました。臨床医への復帰は3年ぶりとなりますが、その間も外来診療等は継続していましたので、臨床的な勘はさほど鈍ってはいないと思っております。
今年度中に排尿ケアチームの立ち上げがあると聞いていますが、専門分野でもあるため貢献できると思えます。当科は人手が少ないこともありご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが精一杯頑張りたいと思えます。

04

【耳鼻咽喉科】

保立 裕史(ほたて ひろのり)



みなさま、こんにちは保立裕史と申します。
以前もJCHO北海道病院で勤務しておりましたが、久しぶりの札幌となります。
様々な環境が変化する中、常に柔軟に対応し、今回も楽しく仕事をし、良質な医療を提供できる
よう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

05

【外科】

齋藤 智哉(さいとう ともや)



平素より大変お世話になっております。
4月より勤務させていただいております、外科の齋藤智哉と申します。
皆様が安心して暮らしていけるよう精一杯働かせていただきますので、何卒よろしくお願
い申し上げます。
また、近隣の医療機関の皆様におかれましては、いつも当院に患者様をご紹介いただきま
して大変ありがとうございます。
今後とも外科症例がございましたら、ご遠慮なく当科までご連絡いただくと幸いです。

06

【皮膚科】

半田 稔也(はんだ としや)



4月よりJCHO北海道病院で勤務をしております、皮膚科の半田と申します。
新しい環境に慣れず、皮膚科の遠藤先生、外来、病棟のスタッフに助けていただきながら、
毎日診療を行っております。
ねばり強さと、一度もインフルエンザにかかったことがない健康な体が強みだと思っ
ております。
まだまだ皮膚科として未熟ですが、病に苦しむ患者様のお力になれるよう、精進して参
りますので、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いたします。

07

【消化器内科】

菅野 究(かんの きわむ)



国立病院機構 北海道医療センターより赴任して参りました菅野究と申します。
北海道出身ですが、東北大学で薬剤師免許を取得し、香川大学で医師免許を取得しました。
北海道をしばらく離れておりましたが、地元に貢献したいという思いが強くなり、北海道に
戻ってきました。
これまで得た知識をフルに活用して、地域の皆様に貢献できるように努力致しますので、
どうぞよろしくお願いいたします。

08

【呼吸器内科】

田上 敬太(たがみ けいた)



後期研修医の田上敬太と申します。
地元は札幌で北海道大学を卒業した後、小樽市立病院で2年間の初期研修を行い、この度は
1年間になりますが、こちらに赴任することとなりました。
前半の半年は呼吸器内科で、後半の半年間は消化器内科でお世話になります。
皆様により良い医療を提供できるように精一杯頑張ります。
よろしくお願いいたします。

09

【初期研修医】
星 光輝(ほし ひかる)


初めまして、臨床研修医1年目の星 光輝と申します。
 出身は北海道札幌市で高校まで札幌で育ち、受験勉強を経て東京にある日本医科大学に入学、平成31年に同大学を卒業し、4月よりJCHO北海道病院で働くことになり久しぶりに地元である札幌に戻ってまいりました。
 医師として学ばなければいけないことは多岐にわたり、私自身まだまだ至らない点も多くありますが、地域の皆様のお役に立てるよう、精進していきたく思いますのでよろしくお願ひ致します。

10

【初期研修医】
高塚 厚志(たかつか あつし)


はじめまして、研修医一年目の高塚といいます。私は北海道に縁もゆかりもありませんが、この度JCHO北海道病院に勤めさせていただくことになりました。東京の大学出身で4月になるとソメイヨシノが満開になり桜が舞うのですが、北海道では雪が舞っており少しビックリしております。
 勤めて間もない私を快く、暖かく迎え入れてくださったJCHO病院の職員の皆様には感謝しております。
 出来ないことだらけですが、少しずつできることを増やしていきたいと思ひます。これからよろしくお願ひいたします。

11

【初期研修医】
高島 一生(たかしま いっせい)


この度JCHO北海道病院で初期研修させていただくことになりました高島一生です。
 高校と大学は関東ですが出身は札幌で大学時代にアーチェリー部に所属しておりました。
 将来は救急医または外科医として地域医療に貢献しようと思ひますので、初期研修中になるべく多くの診療科で研修させていただき多くの知識や手技を学びたいと思ひますので、御指導よろしくお願ひいたします。

12

【初期研修医】
南 秀明(みなみ ひであき)


初めまして。初期臨床研修医1年目の南秀明と申します。
 ハンガリーのセンメルweis大学出身で、4月からJCHO北海道病院で研修させて頂いております。中学、高校時代を過ごした札幌で働ける喜びを感じながらも、初めて日本での医療に従事する事に緊張しております。
 至らない点は多々あると思ひますが、患者様に真摯に向き合い、皆様のお役に立てる様に精一杯頑張りたくと思ひます。
 どうぞよろしくお願ひ致します。

13

【初期研修医】
吉川 一平(よしかわ いっぺい)


初めまして。
 初期研修医の吉川一平と申します。
 札幌出身で北海道大学を卒業し、4月から1年間、北海道大学病院の初期臨床研修プログラムのもとJCHO北海道病院で研修をさせていただくことになりました。
 医師1年目ということで右も左もわからずご迷惑をおかけすることと思ひますが、皆さまのお力になれるよう精一杯頑張りたくと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

14

Team MBD

薬物療法について

薬剤部 佐藤 裕美

不眠の薬物治療には ゴールがあることを忘れない!

不眠症の薬物療法の主流はベンゾジアゼピン系薬剤（BZ系薬剤）となっています。現在、日本のBZ系薬剤消費量は世界の中でもトップといわれていますが、この裏には「常用量依存」という大きな問題が隠れています。常用量依存とは、適切な用量であっても長期間服用することで依存性が形成され、中止により離脱症状が生じる状態であり、服用中止を難しくさせている原因の1つです。海外では1980年代から問題視され、処方制限など対策が取られています。日本においても、診療報酬減算など対策の導入、BZ系薬剤44成分については添付文章改定が行われました。

【添付文書一部抜粋】

重要な基本的注意

連用により薬物依存を生じることがあるので、漫然とした継続投与による長期使用を避けること。本剤の投与を継続する場合には、治療上の必要性を十分に検討すること。

添付文書にも記載がありますが、常用量依存の要因の1つは「長期服用」です。

不眠症治療では、不眠による日常生活への支障がなくなれば、治療薬の減量・中止が必要となります。休薬する場合、急な中止では離脱症状が現れる可能性があるため、ゆっくりとした休薬が必要です。方法としては漸減法、隔日法、置換法があります。漸減法は投与量を1/4ずつ、2～4週間かけて減らしていく方法、隔日法は投与量を半量まで減らしたあと、1日、2日おきと服用間隔を伸ばす方法、置換法は長時間作用BZ系薬剤に切り替え漸減していく方法です。この間も睡眠衛生指導は必要です。

患者さんへのアンケート調査において「医師と不眠治療終了について話したことがある」と答えたのが3割という結果があります。このことから、症状が改善しているにも関わらず、治療終了がいつなのかわからぬままに継続している患者さんが多いと考えられます。まず、薬物治療を開始するときは、ゴールを設定し、薬物治療には終了があることを、治療する側も受ける側も認識することが重要です。

総合支援センターについて

総合支援センター

多様化する医療ニーズに応える地域の基幹病院及び急性期病院として、医療資源の効率的活用と医療機関の機能分担の促進を図り、医療・福祉・介護機関相互の連携を密にし、地域住民に満足される医療の提供を目指しています。

今回新たに人員を増員し、地域の病院及び診療所との連携、退院調整業務に加え、入院前から患者状況を把握し、患者・家族が安心して治療に専念できるように、早期に多職種により在宅療養移行支援を実施します。また、がん関連の認定看護師3名が配属され、「がん相談」窓口での継続支援や、患者自身が情報を得られる「がんに関する患者図書室・サロン」の案内等、通院から治療、入退院、緩和ケアに至るまで様々な専門職と連携して支援を行っています。

チームの構成メンバーは、下記の通りです。

- 総合支援センター長 …………… 数井 啓藏 (副院長)
- 総合支援室長 …………… 沓澤 佳代子 (看護師)
- 認定看護師 緩和ケア認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名
- 看護師 …………… 6名
- 医療社会事業専門員 …………… 4名
内) 認定がん専門相談員 2名 内) 認定医療社会福祉士 1名
- 事務職 …………… 1名

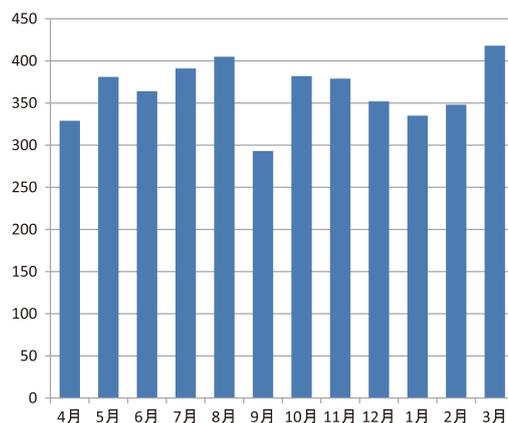
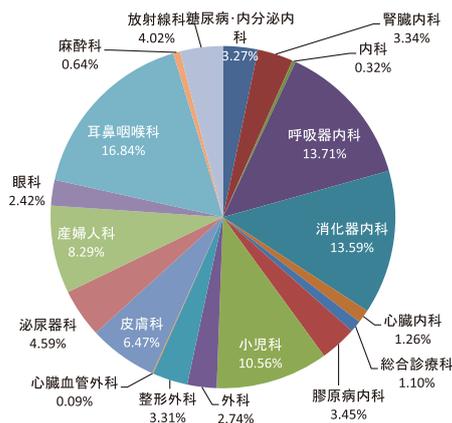
メールアドレスが変わります。

shien@hokkaido.jcho.go.jp (旧 chiiki@hokkaido.jcho.go.jp)

平成31年4月1日より
地域連携相談室は、
「総合支援センター」に
名称が変わりました。

総合支援センター 平成30年度 利用状況報告

平成30年度 診療科別紹介利用状況です。
平成30年度利用件数は、4377件でした。
9月は、地震の影響があり紹介数は、減少していますが、月平均は365人のご紹介がありました。



お知らせ

研修会の実施報告

第51回 札幌南部呼吸器懇話会

日 時 平成31年2月20日(水)

場 所 当院講堂

参加人数/院外7名 院内8名

第51回 リバーサイド消化器懇話会

日 時 平成31年3月12日(火)

場 所 当院講堂

参加人数/院外18名 院内20名

第10回 豊平区糖尿病ブルーサークル

日 時 平成31年2月8日(金)

場 所 当院講堂

参加人数/院外24名 院内16名

認知症についての家族会講話

日 時 平成31年3月8日(金)

参加人数/8名

懇話会のお知らせ

JCHO北海道病院では、地域の先生方との研修・交流の場として講演会を中心とした勉強会を開催しています。

第23回 JCHO北海道病院地域支援病院運営委員会 地域協議会

日 時 令和元年5月15日(水)

場 所 当院

第52回 札幌南部呼吸器懇話会

日 時 令和元年6月11日(水)

場 所 当院講堂

第1回 CKD Liaison Seminar

日 時 令和元年7月11日(木)

場 所 当院講堂

第52回 リバーサイド消化器懇話会

日 時 令和元年7月9日(火)

場 所 当院講堂

詳細は総合支援センターまでお問い合わせください。

災害救急
指定日**〈令和元年〉 5月23日(木)、6月11日(火)、6月22日(土)、
7月3日(水)、7月24日(水)、8月5日(月)、8月17日(土)**

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金	
総合診療救急科	午前・午後	内科系	浄土 智 長井 桂	志田 玄貴	前田 由起子 長井 桂	谷口 菜津子	前田 由起子 大江 真司
		外科系	数井 啓蔵 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	正村 裕紀 岩崎 美恵(午後)	正村 裕紀 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	数井 啓蔵 酒井 俊彦(午後)	数井 啓蔵 庄野 泰弘(午後)
循環器内科	午前 午後(診療13:00~)	五十嵐 康己	三神 大世	木村 銀河 木村 銀河	木谷 俊介	木村 銀河 木村 銀河	
心臓血管外科	午前			吉田 俊人			
呼吸器内科	午前	1診 秋山 也寸史 2診 猪狩/佐藤	原田 敏之 谷口 菜津子	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 中村 友彦	秋山 也寸史 長井 桂	
	午後(診療13:30~)			秋山 也寸史(予約)			
消化器内科	午前	1診 古家 乾 2診 馬場 英 3診(予約) 田口 純[化学療法]	古家 乾 定岡 邦昌 合田 智宏[化学療法]	古家 乾 馬場 英 竹内 啓[化学療法]	森川 賢一 定岡 邦昌	古家 乾(初診) 馬場 英	
	午後(診療14:00~)	坂本 直哉(予約)					
腎臓内科	午前	楠 由宏		古川 將太	楠 由宏		
膠原病内科	午前(予約)		浄土 智		浄土 智	志田 玄貴	
糖尿病・内分泌内科	午前	1診	鬼頭 健一		宮野 有希恵		
	午後	1診	牧野 圭祐	國崎 哲	牧野 圭祐	國崎 哲	
	(予約)	2診		國崎 哲(14:00~)	牧野 圭祐(13:30~)	國崎 哲(14:00~)	
内科	午前		大江 真司(予約)	竹内 正	大江 真司(予約)		
小児科	午前	1診 澤田 博行 2診 椿 淳子 一般 岡嶋 寛	大原 夕季 椿 淳子 岡嶋 寛	大原 夕季 椿 淳子	大原 夕季 椿 淳子 中島 泰志	澤田 博行 椿 淳子 中島 泰志	
	午後(診療13:30~)	慢性外来(予約)	澤田 博行 [慢性・発達]	伏屋 菜穂 [喘息・アレルギー]	中島 泰志 [腎臓]	古山 秀人 [心臓]	
			古山 秀人 [心臓]	乳児健診(予約)	中島 翠(9:00~) [神経](月2回)	古山 秀人 [心臓]	
				予防接種[予約なし] (受付時間12:30~14:30)	谷口 宏太(予約) [心臓]第2・4週	1カ月健診(予約) [産婦人科外来]	
外科	午前	一般 敦賀 陽介 予約 乳がん検診	数井 啓蔵 乳がん検診	数井 啓蔵 乳がん検診	正村 裕紀 乳がん検診	正村 裕紀(予約) 乳がん検診	
	午後(診療14:00~)	一般 乳腺外来(予約)		出張医(第1・3週)		正司 裕隆	
整形外科	午前	1診 庄野 泰弘 2診 酒井 俊彦(10:00~) 3診 岩崎 美恵	庄野 泰弘 酒井 俊彦	庄野 泰弘	酒井 俊彦 岩崎 美恵	交代診療(10:00~) 寺島 理代	
	午後(不定期)14:00~16:00					門間 太輔(手、肘、肩)	
泌尿器科	午前	1診 広瀬/出張医(交代診療) 2診 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄	広瀬 崇興(10:00~) 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄	
	午後(診療13:30~)	広瀬/出張医(交代診療)			広瀬 崇興(予約)		
産婦人科	午前	1診 山田 俊 2診 小野寺 康全(初診) 3診 山村 満恵	佐々木 瑞恵 小山 貴弘 小田 泰也(初診)	小田 泰也 小野寺 康全 山村 満恵(初診)	小山 貴弘 小田 泰也 佐々木 瑞恵(初診)	山田 俊 小山 貴弘(初診) 小野寺 康全	
		助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来		
		午後(診療14:00~)	1診 山田 俊 2診 交代診療(初診) 3診 助産師外来	佐々木 瑞恵 交代診療(初診) 助産師外来	山村 満恵 交代診療(初診) 助産師外来	助産師外来 交代診療(初診) 助産師外来	交代診療(産後) 助産師外来
	午後(診療14:00~)	1診 藤尾 直樹 2診	藤尾 直樹 高橋 智恵	藤尾 直樹(予約) 高橋 智恵	藤尾 直樹	藤尾 直樹 高橋 智恵	
耳鼻咽喉科	午前	1診 保立 裕史 2診 太田 亮[予約なし]	保立 裕史 太田 亮	金谷 健史[紹介・予約のみ] 交代診療	保立 裕史 太田 亮	保立 裕史 太田 亮	
	午後(診療14:00~)	1診 保立 裕史 2診 太田 亮	保立 裕史 太田 亮		保立 裕史 太田 亮	保立 裕史 太田 亮	
皮膚科	午前	1診 遠藤 元宏 2診 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	
	午後(診療14:00~)	1診 遠藤 元宏	半田 稔也			遠藤/半田 (交代診療)	
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子	
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充		
禁煙外来(予約)	午後(診療13:30~)	長井 桂			原田 敏之		

《午前の受付時間》8:00~11:00(診療開始8:45~) 《午後の受付時間》12:30~15:30(診療開始は各診療欄をご覧ください)

担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

病院代表電話：011-831-5151 予約変更直通：011-831-5489(平日 9:00~16:00)

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

TEL 011-831-5151(病院代表)

URL <http://hokkaido.jcho.go.jp>

[f https://www.facebook.com/jchohok](https://www.facebook.com/jchohok)

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉

TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005



↑QRコード読んで
病院ホームページへ



日本医療連合評価機構
認定番号 JCHO15 号

